

# 会 報

No.68 (2001年2月)

## 目 次

◆第11期 第3回 評議員会報告	1
◆第23回 総会報告	2
◆日本分子生物学会 1999年度収支決算報告	3
◆日本分子生物学会 2001年度収支予算案	4
◆第12回 評議員選挙結果報告	5
◆第23回日本分子生物学会年会報告	5
◆第23回日本分子生物学会年会 WWW による演題受付報告	6
◆第1回 日本分子生物学会春季シンポジウムのご案内	8
◆第24回 (2001年) 日本分子生物学会年会のお知らせ (その1)	23
◆学術賞、研究助成の本学会推薦について	25
◆研究助成一覧	26
◆各種学術集会、シンポジウム、講習会等のお知らせ	28
○千里ライフサイエンスセミナーヒト遺伝子多型とファーマコジェノミクス	28
○日本学術振興会 未来開拓「細胞シグナリング」公開国際シンポジウム	28
○文部科学省科学研究費の国際シンポジウム	28
○21世紀における再生医学への展望	29
○特定領域研究国際シンポジウムのお知らせ	29
○科学技術振興事業団 CREST 「ゲノムの構造と機能」公開シンポジウム	29
○マリンバイオ静岡2001	30
○日本細胞生物学会第54回大会の開催案内	30
○日本蛋白質科学会第1回年会開催について	30
○第16回日本生体磁気学会大会のご案内	31
○第28回生体分子化学討論会	31
○日本研究皮膚科学会第26回学術大会・総会案内	32
○日本遺伝学会第73回大会	32
○第28回核酸化学シンポジウムのご案内	32
◆人事公募	33
○群馬大学工学部生物化学工学科・教官公募	33

日 本 分 子 生 物 学 会

(THE MOLECULAR BIOLOGY SOCIETY OF JAPAN)

URL : <http://MBSJ.biol.kobe-u.ac.jp/>

## ◆日本分子生物学会 第11期 第3回評議員会報告

日 時：2000年12月12日（火）15：30～19：30

場 所：神戸ポートピアホテル本館地下1階「菊水」

出席者：柳田充弘（会長）、池田日出男、石浜 明、大塚栄子、大坪栄一、小川智子、勝木元也、近藤寿人、杉野明雄（第23回年会長）、辻本賀英、長田重一、山本 雅、吉川 寛、西田栄介（庶務幹事）、鍋島陽一（編集幹事）、磯野克己（会計広報幹事）、花岡文雄（集会幹事）、山本正幸（第24回年会長）、藤井義明（第25回年会長）、小川英行（第1回春季シンポジウム世話人）

欠席者：谷口維紹、本庶 佑、松原謙一

議 事：

1. 第2回評議員会の議事録を確認した。
2. 報告事項
  - 1) 庶務幹事より平成13年度科学研究費補助金（今回は第一段審査委員のみ）の審査委員候補者として14名を学会から推薦したことが報告された。また日本学術会議の分子生物学研究連絡委員会（研連）の18期委員について9名の候補者を学会から推薦したことが報告された。
  - 2) 選考委員長より各種学術賞、研究助成候補の推薦の状況について報告された。
  - 3) 会計幹事より1999年度日本分子生物学会収支決算の報告が行われた。すでに会計監査の検査により適正に予算の執行が行われたことが確認された。続いて、2000年度会計の中間報告がなされ、支出も含め順調に執行されている旨紹介された。
  - 4) 杉野明雄第23回年会長から、第23回年会の開催に当たっての基本的な考え方についての説明があった。参加人数の増加が見込まれ、年会の規模拡大が進んでいる旨が紹介された。
  - 5) 山本正幸第24回年会長より、第24回年会は、2001年12月9日（日）～12日（水）の期間、パシフィコ横浜で開催される予定であることが報告された。
  - 6) 第25回年会は、藤井義明教授を年会長として、2002年12月11日（水）～14日（土）の期間、パシフィコ横浜にて開催される予定であることが報告された。
  - 7) 第1回春季シンポジウムは、小川英行教授をオーガナイザーとして、2001年5月10日（木）～12日（土）の期間、盛岡市で開催される予定で講師の人選も含め準備が順調に進んでいる旨が紹介された。
  - 8) 広報幹事よりホームページについて、これまでにアクセスしてきたサイトの数は前回よりも増加し、今後はさらに充実したい旨が紹介された。
  - 9) 第12回評議員選挙が無事終了し、第12期の評議員30名が選出されたとの報告が庶務幹事から報告された。
  - 10) 編集幹事より Genes to Cells が投稿、刊行ともほぼ順調であり、1999年度の impact factor は 4.869で、前年度の4.281より向上したことなどが紹介された。
3. 協議事項
  - 1) 庶務幹事および会計幹事より2001年度事業計画および予算案についての説明があり、異議なく了承された。
  - 2) 編集幹事より Genes to Cells を、日本分子生物学会の機関誌とすることについて提案がなされ、話し合いがもたれ、了承された。また、学会細則に記述するにあたり、その文面を2001年4月の評議員会で学会細則に入れる文面を決めることとなった。
  - 3) 2002年春季シンポジウムの開催について、宮川都吉教授にオーガナイザーをお願いすることとなった。
  - 4) 学会として賞の推薦に積極的に対応するため、選考委員長より「学会の賞に関する提案」がなされ、その案として、会長が評議員会の承認を得て、評議員の中から賞推薦委員を数名委嘱し、

評議員からの推薦をもとに賞推薦候補者リストを作成し、委員の意見を勘案しつつ、候補者を決定・推薦するといった方法などが提案され、議論がなされた。

#### ◆日本分子生物学会 第23回 総会報告

日 時：2000年12月15日（金）12：10～13：00

場 所：神戸国際会議場メインホール（1階：C会場）

議事内容：

1. 開会の挨拶の後、総会議長として升方久夫氏を選出した。
2. 議長より委任状を含めて450名以上の総会参加があり、総会が成立していることが発表された。
3. 柳田会長より2000年度の学会活動の概要が報告された。
4. 鍋島編集幹事より Genes to Cells の編集・発行とも概ね順調であるとの紹介がされた。
5. 西田庶務幹事より会員数の報告などがあった。
6. 磯野広報幹事よりホームページのアクセス状況等の報告があった。
7. 小川世話人より第1会春季シンポジウムについて2001年5月10日～12日に盛岡市のホテル紫苑を会場として準備を進めている旨の説明があった。
8. 磯野会計幹事より1999年度会計収支決算書が提出・説明され異議なく承認された。
9. 磯野会計幹事より2001年度事業計画および収支予算案が提案・説明され、異議なく承認された。
10. 杉野第23回年会長の挨拶があり、参加者が最終的には6500名を超えることが見込まれるなど、年会は順調に運営されている旨の説明があった。
11. 山本第24回年会長の挨拶があり、2001年12月9日（日）～12日（水）まで、パシフィコ横浜を会場として準備を進めているとの説明があった。
12. 藤井義明教授より第25回年会長を引き受けるとの挨拶があり、2002年12月11日（水）～14日（土）までパシフィコ横浜を会場として開催する予定であることなどの報告がなされた。
13. 議長より閉会の挨拶があり、総会が終了した。

◆日本分子生物学会1999年度会計収支決算報告

1999年度学会会計収支決算は以下の通りになりましたので報告いたします。

(第11期 会計幹事 磯野克己)

1999年度日本分子生物学会収支決算報告書

(1999年4月1日 ~ 2000年3月31日)

収入の部

単位：円

科 目	予算額	決算額	備 考
学 会 費	36,310,000	40,378,426	正会員会費： 29,544,500円 (99：4500円 × 6277名、他：1,298,000円)
賛 助 会 費	1,500,000	1,320,000	学生会員会費： 8,660,000円 (99：3000円 × 2685名、他：605,000円)
預 金 利 子	100,000	84,298	海外会員会費(183名)： 682,926円
雑 収 入	50,000	158,600	入会金(1000円 × 1491名)： 1,491,000円
収入小計	37,960,000	41,941,324	
前年度繰越金	18,306,310	18,306,310	
合 計	56,266,310	60,247,634	

支出の部

科 目	予算額	決算額	備 考
事 業 費	14,000,000	12,723,403	
会報発行	3,000,000	2,537,503	
年会補助金	5,000,000	5,000,000	
国際誌発行支援金	4,000,000	4,000,000	
国際誌購読関係費	1,000,000	441,580	
その他	1,000,000	744,320	AMBO 寄付金 他
評 議 委 員 会 費	1,000,000	604,570	
委員会費	1,000,000	604,570	
選挙・名簿作成費	0	0	
業 務 委 託 費	9,500,000	11,675,422	
一 般 事 務 費	10,100,000	10,016,692	
印刷費	300,000	184,935	
通信費	8,900,000	8,847,652	プログラム、会報等郵送料
庶務事務費	650,000	650,000	
雑 費	250,000	334,105	
予 備 費	1,000,000	552,982	
支出小計	35,600,000	35,573,069	
次年度繰越金	20,666,310	24,674,565	
合 計	56,266,310	60,247,634	

## 2001年度日本分子生物学会収支予算案

(2001年4月1日 ~ 2002年3月31日)

### 収入の部

単位：円

科 目	2000年度予算額	2001年度予算案	備 考
学 会 費	38,970,000	42,210,000	正会員会費： <span style="float: right;">30,780,000円</span> (7,600名 x 4,500円 x 0.9)
賛 助 会 費	1,380,000	1,350,000	学生会員会費： <span style="float: right;">10,530,000円</span> (3,900名 x 3,000円 x 0.9)
広 告 収 入	1,800,000	0	海外会員会費(200名)： <span style="float: right;">700,000円</span>
預 金 利 子	120,000	120,000	入会金(200名)： <span style="float: right;">200,000円</span>
雑 収 入	50,000	50,000	
収 入 小 計	42,320,000	43,730,000	
前年度繰越金	※ 24,670,000	20,640,000	※99年度決算・繰越金概算とした
合 計	66,990,000	64,370,000	

### 支出の部

科 目	2000年度予算額	2001年度予算案	備 考
事 業 費	17,650,000	21,800,000	
会報発行	3,000,000	3,000,000	{ 第25回年会補助： 300万円 プログラム・第24回年会分： 200万円  ブラックウェル社支払い 国内購読取りまとめ費用等  講習会補助金他
年会補助金	5,000,000	5,000,000	
春季シボゾウム補助金	0	4,000,000	
国際誌発行支援金	4,000,000	4,000,000	
// オンラインアクセス費用	3,350,000	3,500,000	
国際誌購読関係費	1,000,000	1,000,000	
ホームページ関係費	300,000	300,000	
その他	1,000,000	1,000,000	
評 議 委 員 会 費	6,000,000	1,000,000	
委員会費	1,000,000	1,000,000	
選挙・名簿作成費	5,000,000	0	
業 務 委 託 費	10,000,000	11,000,000	会員増に伴う発送手数料増
一 般 事 務 費	10,700,000	11,000,000	
印刷費	400,000	400,000	会報・プログラム他送料
通信費	9,400,000	9,600,000	
庶務事務費	650,000	650,000	
雑 費	250,000	350,000	
予 備 費	2,000,000	2,000,000	
支 出 小 計	46,350,000	46,800,000	
次年度繰越金	20,640,000	17,570,000	
合 計	66,990,000	64,370,000	

※ 上記の収支繰越金以外に、将来事業準備金 4,000,000円(定期預金)があります。

### ◆1999年度会計監査報告

1999年度日本分子生物学会収支決算報告に際し、会計帳簿、銀行残高証明書、領収書、日本学会事務センター出納記録などの監査を行い、決算に誤りのないことを確認しました。

日本分子生物学会第11期会計監査

2000年10月24日 武 田 俊 一 ㊦

2000年10月25日 品 川 日出夫 ㊦

## ◆日本分子生物学会 第12回評議員選挙結果報告

選挙公示・投票用紙発送：2000年11月17日（会報67号に綴込み）

投票締切日：2000年12月1日

開票日：2000年12月6日

開票場所：京都大学大学院生命科学研究科理学部2号館505号室

開票者：選挙管理委員（西田栄介、宮田愛彦、福田 真）

開票結果：投票総数 277通

白票 1票

無効 5票

当選者（50音順）：相沢慎一、新井賢一、池田日出男<sup>°</sup>、石川冬木、磯野克己、大石道夫、大坪栄一<sup>°</sup>、大野茂男、岡田清孝、岡野栄之、小川智子<sup>°</sup>、小川英行、勝木元也<sup>°</sup>、榊 佳之、品川日出夫、篠崎一雄、清水信義、月田承一郎、中西重忠、鍋島陽一、西田栄介、花岡文雄、藤井義明、本庶 佑<sup>°</sup>、升方久夫、町田泰則、御子柴克彦、山本 雅<sup>°</sup>、山本雅之、山本正幸

（<sup>°</sup>印は第11期より連続して選出された方です。）

## ◆第23回日本分子生物学会年会報告

第23回日本分子生物学会年会は昨年12月13日（水）～16日（土）の4日間、神戸国際展示場、神戸国際会議場およびポートピアホテルの3会場にて開催致しましたが、年会史上で最高の6,681人という多数の方に参加していただき、成功裏に終えることができました。

シンポジウム、ワークショップおよびポスター発表会場では、多少の問題（ある会場では狭すぎた等）はありましたが、それぞれの会場で20世紀最後の年会にふさわしい活発な議論の交換が行われました。このような議論が、21世紀の、我が国に於ける分子生物学のさらなる発展につながるものと確信いたしております。

この年会の新たな試みとして、「岡崎令治メモリアルレクチャー」を企画致しました。このレクチャーは昼食時間帯に行いましたが、多数の方々に参加していただくことができました。その結果、多くの方々から「大変良かった」、「Okazaki Fragmentに関してよく分かった」等、うれしい感想を聞いております。この「岡崎令治メモリアルレクチャー」は今年度以降の年会に引き継がれるかどうかは定かではありませんが、第23回日本分子生物学会年会組織委員会が「岡崎令治メモリアルレクチャー」に込めました意図を十分理解していただき、同じような企画が次年度の年会で催されることを期待しております。

また、折からの神戸ルミナリエ開催に伴い、神戸市内でのホテルの確保が充分でなく、大阪市内から通っていただいた方があった等、一部の方にご不便をおかけしたように聞いております。この場を借りて、お詫びを申し上げます。

最後に、昨今の不況の折から本年会が成功裏に終えられましたのも、バイオテクノロジーセミナー、機器・試薬・書籍展示にご理解をいただき、ご参加いただきました多数の関連企業の皆さまあってのことと思います。ここで改めて、ご援助いただきました関連企業の皆さまに心よりお礼を申し上げます。

第23回日本分子生物学会年会  
年会長 杉野 明雄

## ◆第23回日本分子生物学会年会 WWW による演題受付に関する報告

皆さまご存知の通り、昨年12月の第23回日本分子生物学会年会（杉野明雄年会長；於神戸）では、日本分子生物学会としては初めての試みとして、WWW による演題と要旨の受付を行いました。これは一昨年（1999年）8月から日本分子生物学会のWWW サーバーを立ち上げ、学会の情報を会員諸氏へ公開してきたので、その延長上で年会の投稿データをデジタル化すると同時に、プログラムや索引の作成に関わる人力を節約し、かつ入力間違いを出来るだけ防ぐようにすることが必要ではないかという認識が広まってきていたためです。そこで、この目的のために昨年7月始めにUNIX サーバー機（SUN Ultra 10、512MB RAM）を購入して設置し、通信その他に必要な各種のソフトならびにWWW サーバー用ソフトであるApache version 1.3.12をインストールして必要な設定を行い、準備を整えました。次にWWW による演題と要旨の受付に関する全体のスキーマを作製し、それに基づいて順次必要なページと入力されたデータを扱うためのコンピュータープログラム（CGI scripts）を作製しました。一部を除いて大体の機能ができたところで、杉野年会長を通じて第23回日本分子生物学会年会の組織委員会ならびにプログラム委員会の各委員に公開し、改良すべき点等に関する批判を仰ぎました。さらに学会センター関西の年会担当者（浜田、泉、轟の諸氏）にも問題点の指摘を依頼しました。その結果指摘された点を参考にして改良を加え、一応予定通り8月1日に一般に公開するところまでこぎ着けることができ、WWW による演題と要旨の受付を開始しました。

このようにしていざ公開してみると、さらにいくつかの問題点が浮上してきました。その多くは各種の制限（姓名や住所等の入力文字数の制限など）に由来した問題でしたが、それ以外にも当初私が予期しない問題もいくつかありました。そこで、これらの問題点を解消するためさらにページの表現やプロ

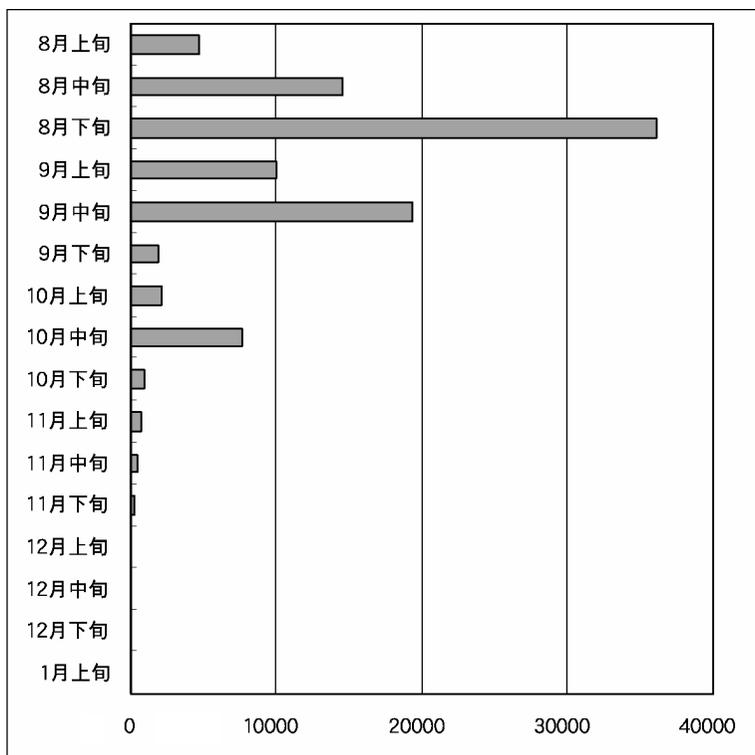


図1：第23回日本分子生物学会演題投稿サーバーへのアクセス状況

グラムに変更・改良を加えるとともに、少しでも問題点を減らすことができるようになればという意図から、これまでに出てきた問題点をFAQとしてまとめて公開しました。このようにして大体8月10日頃までにはまずまずの状態での運営ができるようになってきました。

公開当初はあまり多くの投稿がなく(図1)、これで昨年通りかあるいはそれを上回る演題数になるのか心配したほどです。それと同時に、当初から恐れていた通り、締切り間際に投稿が殺到して回線やサーバーが混雑するのではないかとということも心配でした。その意味で一部に反対意見はあったものの、投稿データの修正は3回までという制限を設けたのです。実際に投稿は締切りの前日(8月22日)がもっとも多く(図1)、この日一日だけで2,726件の投稿(修正を含む)がありました。しかし、このもっとも混雑した8月22日でも、外部からのアクセスにはほとんど問題がないことが複数の関係者の証言によって確かめられましたので、少なくともWWWによる演題と要旨の受付でアクセスには基本的な問題がないことが分かり、ひとまず安心しました。

どのようなことを行っても同じだと思いますが、昨年のWWWによる演題投稿で、不特定多数の集団を相手に新しいことを初めて行う場合には、予期しないことが起こるということがよく分かりました。実際、投稿ページにアクセスした会員各位の90数パーセントまでの方の投稿には問題がなかったのですが、残りの数パーセントの方によって引き起こされた問題にどう対処するかということが大きな課題になりました。たとえば小さな問題では、氏名の英語表記の入力で先頭に空白をいれるとか、もっとひどい場合は姓と名を逆にしたケースなどがありました。さらに大きな問題としては、演題名や著者名を入力してあるにも関わらず、「要旨」の部分にも再度演題名や著者名を入力された方が150件程度ありました。最終的な仕上がりの体裁を見ていただくために「プリントイメージ」のページを設けて投稿者に確認していただくように図ったつもりだったので、なぜこのようなケースがこれほど多数あったのかは理解できません。いずれにせよ、第24回年会では「投稿例」のページを設けるなどの方法により、このような問題点に対処しようと考えております。

ところで、昨年までの統計で分かってはいましたが、日本分子生物学会のホームページにアクセスしてくる方々(会員以外の方々を含むことは言うまでもありません)の主たる興味は「年会」にあります。たとえば、私には必ずしもその理由は判然としませんが、未だに1999年の年会プログラムにアクセスする方が多いことなどがそれを物語っています。したがって、年会に関連するWWWページを充実させて会員の便宜を図ることは日本分子生物学会の広報幹事の重要な役目だと考えています。もちろん、学会関連のニュースの中には、日本分子生物学会の事務局の方で入力していただける内容のものも多々ありますので、全てを広報幹事がする必要はあるという訳ではありません。さらに、昨年初めてWWWによる投稿受付を実施したにもかかわらず、ハードコピーで年会の演題申込をしてきた方はわずか65名(シンポジウム5件、ワークショップ6件、一般演題54件)しかありませんでした。この事実は、多少の問題はあるものの、WWWによる投稿受付ということについては十分機能が熟しており、会員諸氏に広く受け入れられたと見ていいということを示していると思います。したがって今後は、昨年経験した問題点の除去に努め、少しでも分かりやすいページ構成にすることが大切であると思います。それとともに、今後はハードコピーでの受付はもう廃止しても良いのではないかと考えていますが、会員の皆さまはいかがお考えでしょうか。

WWWによる投稿受付に関わることで残念だと思うことは、せっかく“Help”や“FAQ”を作ってもあまり読んでいただけないことです。上に述べたタイトルや著者名が二重になった投稿例などについても、私としてはかなり早い段階でFAQのページで取り上げたのですが、同種の投稿はその後も引き続いていました。第24回年会ではこれらの経験に基づいて、問題点を是正できるページにいたしますので、どうか会員諸氏に置かれましてもできるだけ問題のない運営が出来るようにご協力下さいますようお願いいたします。

なお、WWWを通じて「講演要旨を公開する」ことにつきましては、昨年12月の第23回年会時に開催された評議員会において審議され、「講演要旨はあくまでも“Personal Communication”として扱う

べきであるので、WWWを通じての一般的な公開はするべきでない」という結論に達しましたので、当面は行ないません。しかし、講演要旨集を所持している方がWWWページにアクセスしてキーワード検索することにより、講演要旨集の中から該当するキーワードを含む講演の演題番号を知ることが出来れば大いに有用だと考えられますので、現在そのような方向でこの問題に対処することを考えております。

以上、昨年行ったWWWによる投稿受付に関する問題点や今後の在り方について、投稿に必要なページと処理プログラムの作成に携わった者として、順不同で感想を述べさせていただきました。この問題に関する会員諸氏のご意見をいただければ幸いです。ぜひメールで [isono@biol.kobe-u.ac.jp](mailto:isono@biol.kobe-u.ac.jp) 宛てにご意見をお寄せ下さるようお願いいたします。

日本分子生物学会広報幹事 磯野 克己 (神戸大学理学部)

## ◆日本分子生物学会 第1回春季シンポジウム

### 「分子生物学の躍動」開催のお知らせ

テーマ：DNAの働きを中心とした細胞の基本的な機構

日本分子生物学会では、新しく「春季シンポジウム」を平成13年度(2001年)から開催することになりました。その開催趣旨、計画、参加申込方法等をご案内します。皆様方のご協力と多数のご参加をお願いします。

**趣旨**：学会の規模が大きくなり、包含する研究分野も広範囲になり、さらに各研究分野は専門化の一途をたどっております。春季シンポジウムは、これらのそれぞれの研究分野を総合的に考える機会を持つことを目的として開催されます。講師には、最近話題の優れた論文を発表された方々を中心をお願いして、最先端の研究成果を基に議論し、今後の科学の発展について役立てたいと考えています。また、日本分子生物学会の会員の増加に伴い、学会の開催地が、会場施設の関係から少数の大都市に限られる様になり、若者たちの参加を見ても、開催地とその周辺に住む人たちに偏りがちになっています。そこでこのシンポジウムを、これまで年會が開かれない都市で開催して、新しい方々の参加を期待すると共に、その地域の分子生物学研究の発展と理解の促進にも寄与することを目指しています。

**開催場所**：つなぎ温泉 ホテル紫苑

〒020-0055 岩手県盛岡市繫字湯の館74番2号

TEL：(019)689-2288、FAX：(019)689-2320

**開催日時**：平成13年5月10日(木)午後3時～同12日(土)正午頃まで

**参加予定人数**：300～400人(原則として全員同じホテルに泊まり込み)

(A) 講演はホテル内のコンベンションホール「天河」1室で全員参加で行います。

(B) 宿泊は同じホテルの和室に数人が同室に宿泊し寝起きを共にし、他分野の人達との交流をはかる計画です。

(C) 食事(3食とも)ホテル大宴会場「秀峰」で、全員一緒に摂ります。

**使用言語**：日本語

**講師**：約25名

**講演予定者：**飯野雄一(東大)/石川冬木(東工大)/大隅良典(基生研)/岡田清孝(京大)/岡村 均(神戸大)  
 /小川智子(遺伝研)/嶋本伸雄(遺伝研)/竹市雅俊(京大)/田中亀代次(阪大)/谷口維紹(東大)  
 /田矢洋一(がんセンター)/月田承一郎(京大)/辻本賀英(阪大)/鍋島陽一(京大)/西川伸一(京大)  
 /西田栄介(京大)/花岡文雄(阪大)/半田 宏(東工大)/平賀壮太(熊大)/八木 健(阪大)  
 /安井 明(東北大)/柳田敏雄(阪大)/柳田充弘(京大)/山本正幸(東大)/渡辺 大(京大)。

**ポスター募集：**約100演題

**参加とポスター発表申込：**別紙、「参加申込方法」に従って、E-mail で申込んで下さい。

申し込み締め切りは、**2001年4月5日(木)(必着)**です。

ポスターボードの大きさは、幅900mm×高さ2100mmです。

### シンポジウムのタイムテーブル

	9:00	12:00	13:30	14:30	15:00	17:30	19:30
5月9日 岩手県民会館						市民講座	
5月10日 ホテル紫苑	チャーターバス運行：花巻空港と盛岡駅から 午前エクスカージョン*				講演(5)	夕食	講演 (4~5)
5月11日 ホテル紫苑	講演(5)	昼食	講演 (2~3)	ポスター発表		夕食	講演 (4~5)
5月12日 ホテル紫苑	講演(5)	チャーターバス：盛岡駅、花巻空港行き(ホテル紫苑発12:30) エクスカージョン*					

( )内は講演者の数

\* 希望者が20名以上の場合に限りです。近畿日本ツーリスト盛岡支店の案内をご覧ください、お申し込み下さい。

### 発表形式：

(1) 講師による講演：30分(講演25分、討論5分)

(2) ポスター発表：展示は5月10日午後6：00～5月12日午前10：30。

要旨集・プログラム・宿泊費(参加費込み)用の振込用紙は4月15日までに参加者全員に発送の予定。

### 交通機関：

空路：花巻空港と福岡、大阪、名古屋、札幌各空港(割引価格に関して近畿日本ツーリストの案内をご覧ください)

陸路：JR 東北新幹線(団体割引に関して近畿ツーリストの案内をご覧ください)。

利用希望者は近畿日本ツーリスト盛岡支店(FAX：(019)651-2134, TEL：(019)651-2231)に別紙申込用紙にてお申込み下さい。

### 花巻空港・盛岡駅からホテル紫苑への交通手段：

花巻空港—ホテル紫苑

(1) チャーターバス：利用者の人数により用意致しますが、なるべく全員が利用できる様に計画しています。花巻空港発のチャーターバスはJR盛岡駅には止まりません。

発車時刻は要旨集送付時にお知らせ致します。

- (2) 路線バス：盛岡バスセンター行き JR 盛岡駅下車（料金：1,260円、約60分）  
つなぎ温泉行きへ乗り換え（バス乗り場10番線）。  
花巻空港発つなぎ温泉行きの直通はありません。  
花巻空港発、JR 盛岡駅経由バスセンター行きは飛行機到着便ごとにあります。
- (3) タクシー：約50分 料金（片道）：約13,000円（高速代込み）。

#### JR 盛岡駅－ホテル紫苑

- (1) チャーターバス：  
JR 盛岡駅西口（貸し切りバス乗り場）  
シンポジウム開始に間に合う時間で、新幹線到着時刻になるべく合せて、チャーターバスを用意する計画です。正確な発車時刻は要旨集送付時にお知らせ致します。
- (2) 路線バス：盛岡駅発（片道：620円）つなぎ温泉まで40分  
つなぎ温泉行きの時刻表は近畿日本ツーリストの案内をご覧ください。  
太田経由の場合、下車の停留所は「湯の館」（ホテル紫苑前になります）。  
その他、「つなぎ温泉」下車（ホテル紫苑まで徒歩8分）
- (3) タクシー：約20分 料金（片道）：約3,500円

市民講座・春季シンポジウム・エクスカーショーン・盛岡市内ホテル案内・交通手段などは、分子生物学会ホームページにも記載されています。ご利用下さい。

分子生物学会ホームページ（URL：<http://MBSJ.biol.Kobe-u.ac.jp/>）

**参加費**：会員、非会員共通、5,000円

宿泊無しの場合に限り会場でお支払い下さい。ネームカードを受けとって下さい。

**宿泊費（参加費、11日昼食を含む）** 会員、非会員の区別はありません。

5月10日夕食－12日朝食まで

A-1	（1人部屋）	66,000円
A-2	（2人部屋）	45,000円
A-3	（3人部屋）	38,000円
A-4	（4人部屋）	36,000円
A-5	（5人部屋）	34,000円
A-6	（6人部屋）	30,000円

5月10日夕食－11日昼食まで、または、5月11日昼食から12日朝食まで

B-3	（3人部屋）	23,000円
-----	--------	---------

5月11日夕食から12日朝食まで

C-3	（3人部屋）	21,500円
-----	--------	---------

#### 注意

1. 上記料金には参加費が含まれます。
2. 上記料金表の A と B には5月11日の昼食が含まれます。
3. B と C 料金は1室を3名利用に限りです。
4. 料金の納入は、要旨集・プログラム送付時に添付される振込用紙で4月25日までに支払って下さい。

5. 5月3日までの取消については、シンポジウム終了後に全額返金致します。
6. 5月4日から9日までの取り消しは50%返金致します。
7. 当日の取消、または、連絡なしの不参加は返金致しません。
8. 5月12日昼食希望者は申込用紙に記入して下さい。料金は会議中に徴集します。

**問合せ先：**

オーガナイザー

小川英行

岩手看護短期大学・学長

連絡先：

〒020-0151 岩手県岩手郡滝沢村大釜字千が窪14-1

岩手看護短期大学

直通 FAX：(019)687-5268

E-mail: [hogawa@iwate-nurse.ac.jp](mailto:hogawa@iwate-nurse.ac.jp)

小川智子

国立遺伝学研究所・教授

連絡先：

〒411-8540 静岡県三島市谷田1111

国立遺伝学研究所

直通 FAX：(0559)81-6884

E-mail: [tomogawa@lab.nig.ac.jp](mailto:tomogawa@lab.nig.ac.jp)

## 参加申込方法

下記の番号の項目すべてについて、(例) にならって記入し、下記の E-mail アドレスに、4月5日必着で申し込んで下さい。

送付先 E-mail アドレス : [bunshi@lab.nig.ac.jp](mailto:bunshi@lab.nig.ac.jp)

張付けの場合も添付書類 (テキスト、または RTF フォーマット) の場合も フォントは Osaka を使用して下さい。

### 参加申込

1. 送付年月日 : 平成13年3月10日
2. 氏名 : 小川智子 (おがわともこ)
3. 性別 : 女
4. 所属 (研究室名) : 国立遺伝学研究所 細胞遺伝研究部門 (小川研)
5. 住所・連絡先  
〒411-8540 静岡県三島市谷田 1111  
E-mail: [tomogawa@lab.nig.ac.jp](mailto:tomogawa@lab.nig.ac.jp)  
TEL : 0559-81-6881  
FAX : 0559-81-6884
6. 身分/職業 : 教授、助教授、講師、助手、博士研究員 (ポスドク)、研究生、大学院生、学生など。研究所、会社などの職員の方はこれに準じてお書き下さい。  
部屋割りに使用しますので重要です。
7. 参加の種類 : 講演者、ポスター発表者、参加のみ、のいずれかを記入して下さい。
8. 宿泊申し込み : A-5 (宿泊費の種類から1つを選び記号で記入して下さい)。
9. 12日昼食の希望 : 有り (有、無の別を記入)
10. ポスター申し込み : 無し (有、無の別を記入)
11. チャーターバス往路利用 : JR 盛岡駅、花巻空港 (乗車場所を記入)
12. チャーターバス帰路利用 : JR 盛岡駅、花巻空港 (行き先の記入)
13. 市民講座への参加 : 有り (有、無の別を記入)
14. 日本分子生物学会会員、非会員の別 : 会員  
宿泊時に同室者の希望があれば、その氏名をお書き下さい (5名まで)。  
しかし、同室の人数は希望に添えない場合もあります。

## ポスター発表申し込み方法

下記の e-mail アドレスに 4 月 5 日必着で、e-mail で申し込んで下さい。

E-mail address: [bunshi@lab.nig.ac.jp](mailto:bunshi@lab.nig.ac.jp)

1. 発表演題
2. 氏名
3. 所属
4. 発表者の e-mail アドレス
5. 要旨：400字程度
6. 申し込み年月日

ハードコピーがある場合は **FAX：0559-81-6884**にお送り下さい。

FAX での申し込みは E-mail address のない場合に限りません。

また、要旨原稿にギリシャ文字、イタリック、ゴシック、下線、上付、下付などがある場合にはハードコピーを一部お送り下さい。

発表演題

氏名・所属（略称）

本文（約400字程度）

## 市民講座のご案内

### タイトル：「生きることと遺伝子の働き」

主 催：日本分子生物学会

後 援：岩手県、盛岡市、岩手県教育委員会、盛岡市教育委員会

日 時：平成13年5月9日：午後5時30分～8時30分

場 所：岩手県民会館・中ホール

住 所：岩手県盛岡市内丸13-1 TEL：019-624-1171

参加費：無料

講 師：

1. 京都大学大学院・生命科学研究所・教授 柳田充弘

#### 「孝行を遺伝子で考える」

講演内容：最近、ゲノムとか遺伝子とかDNAとか世間で騒がれているが、これらを本当に納得している人はあまりいない。専門家ですらゲノムを調べたらどんな良いことが起きるのか、案外うまく説明できないものです。ゲノムや遺伝子を理解しそれを自分の人生に有意義なものとして役立てるためにヒントになるようなことをお話ししたいと思います。そのための鍵となる言葉として、日本に古来からある「孝行」をとりあげます。近江の聖人といわれた中江藤樹の説く孝行とはどんなものであるか、そしてそれが昨今進歩の激しいゲノムと遺伝子の研究とどうかわるのか、わたくしの考えを述べます。聞いた後には、なにか元気がでてくるような話になるはずですよ。

2. 京都大学大学院・理学研究科・教授 岡田清孝

#### 「植物の形をきめるルール」

講演内容：花や葉、根などの植物の形を支配する遺伝子の研究からわかってきた基本的な仕組みについて話します。突然変異体の単離、遺伝子のクローニングなど、実際の研究方法についても紹介したい。

3. 京都大学大学院・医学研究科・教授 鍋島陽一

#### 「老化疾患の克服を目指して」

講演内容：(1)解析から統合へ；これまでの分子生物学の成果は疾患の詳細な解析であり、次の課題は様々な事象を統合し、生命の本質を理解することであると考えます。

(2)21世紀は治療と予防の世紀；20世紀の医学は病気の成り立ちについて様々なことを記述してきた。21世紀はこの成果を統合し、根本的な治療法を開発し、同時に疾患の理解に根ざした予防法の開発を進める世紀です。

(注)

市民講座にご参加の方の9日の宿泊は、各自でご用意下さい。

盛岡市内ホテル名、電話番号、料金、ホテルマップは近畿日本ツーリストの案内をご覧ください。

多数のご参加をお待ちしております。

10日は盛岡駅からのチャーターバスを利用して、つなぎ温泉へおいで下さい。

午前中に盛岡市内観光ができます。近畿日本ツーリスト盛岡支店へ別紙でお申し込み下さい。

◆日本分子生物学会第1回春季シンポジウム  
 [各輸送機関 エクスカーションご案内]

謹啓

皆様方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、「日本分子生物学会第1回春季シンポジウム」が東北、岩手を会場に開催するにあたり、参加されます皆様方のご便宜を図るため、各輸送機関、エクスカーションの手配を、近畿日本ツーリスト榊盛岡支店にてお手伝いさせていただくことになりました。

つきましては、下記の要領にてお申し込み下さいますよう、ご案内申し上げます。

皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

シンポジウム会期：平成13年5月10日（木）～5月12日（土）

シンポジウム会場：ホテル紫苑

1. 航空券の手配について

下記4路線につきまして団体割引の申込を承ります。別紙申込書に必要事項をご記入の上お申込下さい。往復利用の場合（5月予定ダイヤにて記載）

設定便

搭乗日	区 間	便 名	発時間	着時間	普通運賃	割引運賃	申込記号
5/10 (木)	新千歳 → 花 巻	JAS-071	8:00	8:55	21,500円	13,970円	ア
	名古屋 → 花 巻	JAS-453	11:30	12:40	26,000円	16,900円	イ
	伊 丹 → 花 巻	JAS-631	9:30	10:50	30,000円	19,500円	ウ
	福 岡 → 花 巻	JAS-948	11:00	12:55	38,500円	25,020円	エ
* 通常運賃の35%割引にて設定しております。 * 片道利用の場合の割引運賃（30%割引） 新千歳線 15,050円 名古屋便 18,200円 伊丹便 21,000円 福岡便 26,950円							
搭乗日	区 間	便 名	発時間	着時間	普通運賃	割引運賃	申込記号
5/12 (土)	花 巻 → 新千歳	JAS-072	17:30	18:25	21,500円	16,120円	オ
	花 巻 → 名古屋	JAS-454	15:10	16:25	26,000円	19,500円	カ
	花 巻 → 伊 丹	JAS-634	19:00	20:30	30,000円	22,500円	キ
	花 巻 → 福 岡	JAS-948	14:00	16:00	38,500円	28,870円	ク
5/13 (日)	花 巻 → 新千歳	JAS-072	17:05	18:00	21,500円	16,120円	ケ
	花 巻 → 名古屋	JAS-454	15:00	16:15	26,000円	19,500円	コ
	花 巻 → 伊 丹	JAS-634	19:00	20:30	30,000円	22,500円	サ
	花 巻 → 福 岡	運 休					
* 通常運賃の25%割引にて設定しております。（休日・休前日設定） * 片道利用の場合の割引運賃（20%割引） 新千歳線 17,200円 名古屋便 20,800円 伊丹便 24,000円 福岡便 30,800円							

- ① 各便とも定員になり次第締め切らせていただきます。
- ② 各設定便とも、お申込が15名に満たない場合は普通運賃になる場合がございます。その際は予めご連絡させていただきます。
- ③ 発着時間は、平成13年5月予定ダイヤを基準としており、便名、時刻が変更になる場合がございますので、予めご了承下さい。
- ④ 変更、取り消しは20日前より所定の取消料がかかりますのでご注意ください。
- ⑤ 上記設定便以外をご希望の場合は搭乗者名簿を添え15名以上同一便にてお申込下さい。(備考欄記入) 15名に満たない場合、または、各種早期購入割引での手配をご希望の場合は各自最寄りの JAS または旅行代理店にてお求め下さい。
- ⑥ ご予約された航空券は各空港当社設置カウンターにて当日お渡しいたします。

## 2. JR 団体券の申込について

大人8名以上同一行程にて、別紙申込書に必要事項をご記入の上お申込下さい。

JR 団体券の規定 JR 運賃 通常運賃10%割引 \*JR 料金 通常料金

- ① 申込人員が8名に満たない場合、または各種割引切符をご希望の場合は各自最寄りの JR 窓口または旅行代理店にてお求め下さい。
- ② ご予約された JR 団体券は利用手引き書等を添付し郵送にて送付致します。

## 3. エクスカーションのご案内

岩手の代表的な観光地を組み入れたエクスカーションを4コースご用意いたしました。

別紙申込書に必要事項をご記入の上お申込下さい。

### 盛岡近郊日帰りコース (最少催行人員 15名)

5/10 (木)	盛岡駅発8:40=9:20啄木望郷の丘9:40=9:50橋本美術館10:40==11:30小岩井農場(昼食ジングスカン)13:30==13:50ホテル(紫苑) * 市民講座参加の方にお勧めのコースです。	お一人あたり 5,800円 (税込み) 申込番号 A
-------------	--	-------------------------------------

### 盛岡近郊日帰りコース (最少催行人員 15名)

5/12 (土)	ホテル発12:30=12:50小岩井農場(昼食ジングスカン)14:30====15:20啄木望郷の丘15:40==15:50橋本美術館16:40====17:20盛岡駅====18:20 花巻空港 接続可能便 大阪便 * 大阪便以外の航空便利用の方は、後泊が必要となります。	お一人あたり 5,800円 (税込み) 申込番号 B
-------------	---	-------------------------------------

### 花巻近郊日帰りコース (最少催行人員 15名)

5/12 (土)	ホテル発12:30=13:30わんこそば(昼食)14:30====15:00宮沢賢治記念館15:40=15:50新渡戸稲造記念館16:20====16:30新花巻駅==16:50花巻空港==18:00盛岡駅 接続可能便 札幌 大阪便 * 札幌 大阪便以外の航空便利用の方は、後泊が必要となります。	お一人あたり 6,500円 (税込み) 申込番号 C
-------------	--	-------------------------------------

平泉/中尊寺コース（最少催行人員 15名）

5/12 (土)	ホテル発12:30=13:00小岩井農場（昼食ジギスカン）14:30===== =15:30藤原の里16:50=17:40厳美渓温泉峡または一関市内（泊）	厳美渓温泉峡 または一関市内 一泊2食付き
5/13 (日)	ホテル8:30==9:00平泉中尊寺10:20=10:40毛越寺11:30===== 12:00（昼食）前沢牛13:00=14:00花巻空港=15:00盛岡駅 * 福岡を除く各便接続出来ます。	お一人あたり 25,500円 （税込み） 申込番号 D

（宿泊予定ホテル 厳美渓温泉 いつくし園 クラス）

- ① 上記各コースには、貸切バス代、入場料、旅行傷害保険、昼食代1回（D 2回）、宿泊費（Dのみ）が含まれています。
- ② 各コースとも募集定員40名、最少催行人員15名となります。募集人員が15名に満たない場合、旅行を中止させていただく場合がございます。予めご了承下さい。
- ③ 宿泊の部屋割りは、基本的に定員利用（4～5名1室）となります。（Dのみ）
- ④ 各コースとも添乗員が同行します。
- ⑤ 行程につきましては、交通事情等により変更になる場合がございます。
- ⑥ その他は当社主催旅行約款によります。

4. 春季シンポジウム前泊 **5月9日（水）** **後泊5月12日（土）** 宿泊案内

春季シンポジウム開催前日に盛岡市内で行われる市民講座、および各エクスカッションに参加の方で宿泊を希望される方に盛岡市内宿泊施設のご案内を申し上げます。別紙申込書に必要事項をご記入の上お申込下さい。

宿泊ホテル・料金（お一人様料金、1泊朝食付、消費税込み）

クラス	ホテル名	立地条件	部屋タイプ	宿泊料金	記号
S	ホテルメトロポリタンニューウィング	JR盛岡駅より徒歩3分	シングル	12,000円	A-1
			ツイン	11,000円	A-2
A	ホテルメトロポリタン本館	JR盛岡駅に隣接	シングル	9,500円	B-1
			ツイン	9,300円	B-2
A	ホテル東日本	JR盛岡駅より徒歩6分	シングル	9,500円	C-1
			ツイン	9,500円	C-2
A	ホテルリッチ盛岡	JR盛岡駅より徒歩3分	シングル	9,500円	D-1
			ツイン	9,000円	D-2
B	グランドホテルアネックス	JR盛岡駅より徒歩15分	シングル	8,300円	E-1
			ツイン	7,200円	E-2
B	ホテルニューカーリーナ	JR盛岡駅より徒歩10分	シングル	8,200円	F-1
			ツイン	7,700円	F-2
B	ホテルエース盛岡	JR盛岡駅より徒歩10分	シングル	7,800円	G-1
			ツイン	6,800円	G-2
B	ホテルサンルート盛岡	JR盛岡駅より徒歩5分	シングル	8,000円	H-1
			ツイン	7,000円	H-2

## 5. チャーターバス設定のご案内

学会開催にあわせ臨時にチャーターバスを5/10（木）、5/12（土）運行いたします。利用希望ございましたら申込用紙にご記入下さいませようお願いいたします。（無料）  
シンポジウム申し込み用紙に申し込まれても結構です。  
運行ダイヤはシンポジウム要旨集と一緒に送致致します。

### 路線バス時刻表

※ 平成13年2月ダイヤを参考しております。航空ダイヤの変動、交通事情により変動する場合があります。開催時、変動分につきましては、改めてご連絡させていただきます。

#### 往路

花巻空港—盛岡（抜粋） お一人あたり1,260円

花巻空港 9：05→9：55 盛岡駅 新千歳便接続

花巻空港 11：35→12：25 盛岡駅 伊丹便接続

花巻空港 12：45→13：45 盛岡駅 名古屋便接続

花巻空港 13：50→14：40 盛岡駅 福岡便接続

※ 各便花巻空港到着後、お客様の乗車状況を確認しながら出発致します。

※ 乗車場 花巻空港正面

つなぎ温泉行き 盛岡—繫温泉線（抜粋） お一人あたり 620円 湯の館にはとまりません。

盛岡駅 9：35→10：05 繫温泉

盛岡駅 10：25→10：58 繫温泉下車（湯本温泉行き）

盛岡駅 10：35→11：05 繫温泉下車（鶯宿温泉行き）

盛岡駅 11：35→12：05 繫温泉

盛岡駅 12：35→13：05 繫温泉下車（鶯宿温泉行き）

盛岡駅 13：35→14：08 繫温泉下車（湯本温泉行き）

盛岡駅 14：35→15：05 繫温泉下車（鶯宿温泉行き）

盛岡駅 15：35→16：05 繫温泉下車（鶯宿温泉行き）

※ JR 盛岡駅 乗車場 10番

※ 停留所よりホテル紫苑まで徒歩8分

つなぎ温泉行き（太田橋経由）盛岡—湯の館—繫温泉線（抜粋） お一人あたり 590円

盛岡駅 10：10→10：33 湯の館

盛岡駅 13：05→13：28 湯の館

盛岡駅 16：15→16：38 湯の館

※ JR 盛岡駅 乗車場 10番

※ 停留所（湯の館）よりホテル紫苑までは徒歩1分 便数が少ないのでご注意ください。

#### 復路

繫温泉—盛岡駅（抜粋） お一人あたり 620円 湯の館から乗車できません。

繫温泉 14：11→14：44 盛岡駅

繫温泉 15：30→16：00 盛岡駅

繫温泉 16：30→17：00 盛岡駅

繫温泉—湯の館（ホテル紫苑前）—繫温泉（抜粋） お一人あたり590円

湯の館 13:51→14:14 盛岡駅

盛岡駅—花巻空港（抜粋） お一人あたり 1,260円

盛岡駅 12:25→13:15 花巻空港 福岡便接続 火/木/土運行

盛岡駅 13:20→14:10 花巻空港 名古屋便接続

盛岡駅 15:15→16:05 花巻空港 新千歳便接続

盛岡駅 17:05→17:55 花巻空港 大阪便接続

※ JR 盛岡駅 乗車場 8番

## 6. お申し込み方法について

◆お申込方法 別紙申込用紙に必要事項をご記入の上、近畿日本ツーリスト㈱盛岡支店まで郵送又はファックスにてお送り下さい。

◆申込締切日 平成13年4月5日（木）

◆申込後のスケジュール

① 別紙申込用紙に必要事項をご記入の上、郵送又はファックスにてお申し込み下さい。

↓

② 申込締切後、4月24日（火）までに、予約内容確認書及びご請求書をお送りさせていただきます。（振込口座名はご請求書送付時にご案内させていただきます。）

↓

③ ご請求金額を5月8日（火）までにお振込み下さい。

（振込手数料はお客様の負担でお願いいたします。）

手配事務費、通信連絡費として、お一人様につき500円を合わせてご請求させていただきます。

※ お申し込み、及び変更・取消等は必ず郵送又はファックスにてご連絡下さい。お電話でのご連絡はトラブルの原因となりますのでご遠慮下さい。

◆取消料について

お申し込みの後、お客様のご都合で予約を取り消される場合、以下の取消料を申し受けます。

〈航空券〉

（片道あたり）

取 消 日	新千歳～花巻	名古屋～花巻	伊丹～花巻	福岡～花巻
搭乗日の20日前以降 8日前まで	20%	20%	20%	20%
搭乗日の7日前以降 2日前まで	30%	30%	30%	30%
搭乗日前日	50%	50%	50%	50%
搭乗日当日	100%	100%	100%	100%

〈宿泊・観光〉

取 消 日	宿 泊	取 消 日	観 光
宿泊日の14日前以降 8日前まで	10%	出発日の20日前以降 7日前まで	10%
宿泊日の7日前以降 2日前まで	20%	出発日の6日前以降 3日前まで	30%
宿泊日前日	50%	出発日2日前及び前日	50%
宿泊日当日及び無連絡	100%	出発日当日及び無連絡	100%

〈JR 団体券〉 予約確定、団体券発券後は原則変更できません。申し込まれた方に別途詳細ご連絡申し上げます。

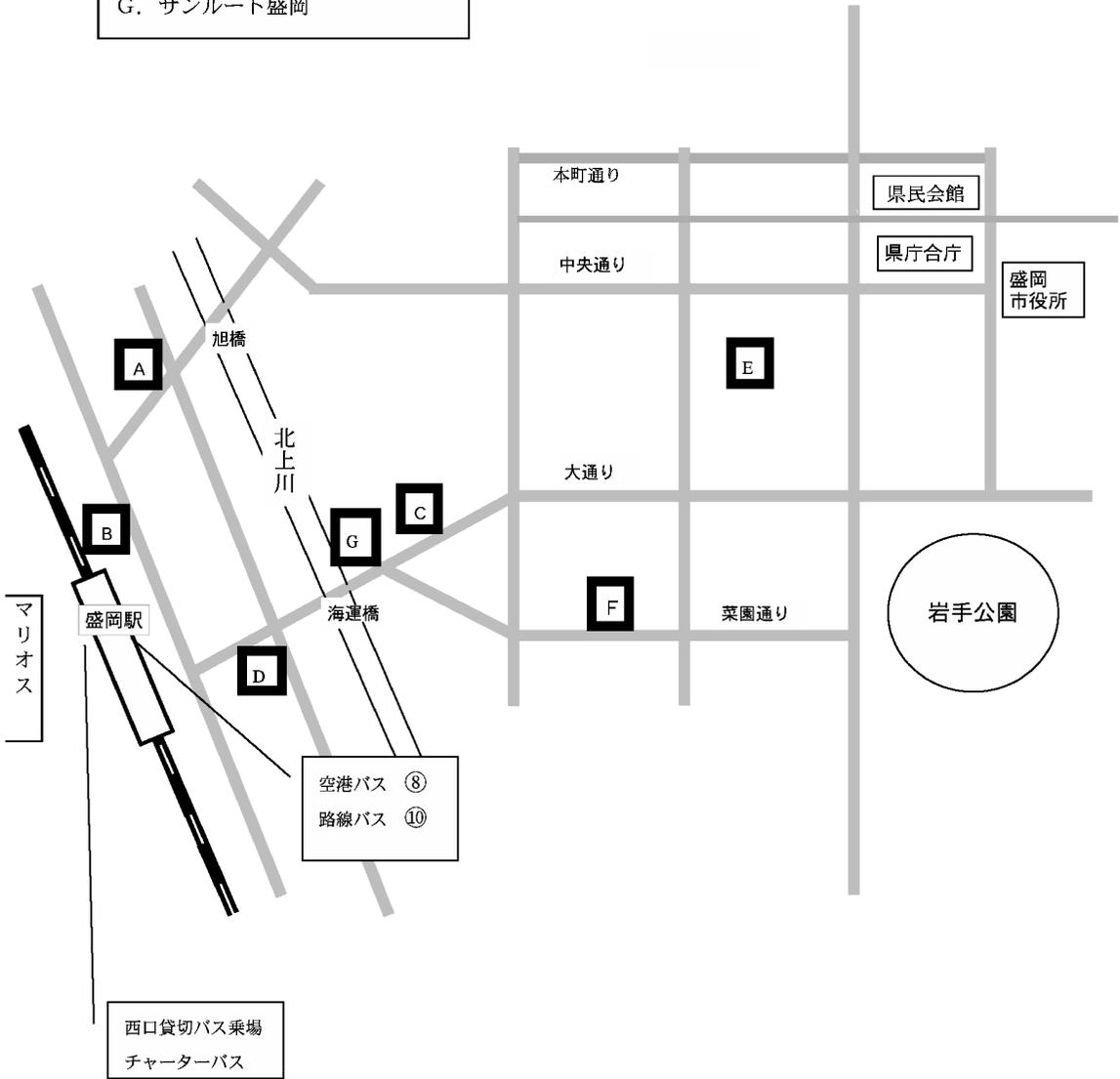
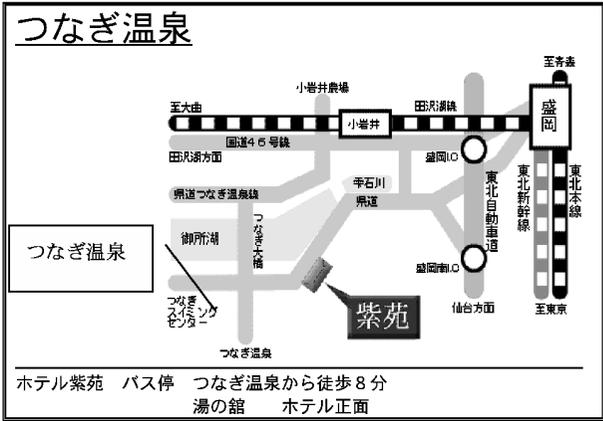
- ① 特別割引料金適用のため、搭乗日・便名の変更でも上記の取消料がかかりますのでご了承下さい。
- ② 取消、変更等により返金が発生した場合、送料実費を差し引いた額をシンポジウム終了後にご返金させていただきます。
- ③ 取消、変更等のご連絡は、必ず文書(ファックス等)にてお願いいたします。電話による変更・取消はトラブルの原因となりますのでご遠慮下さい。

〈お申し込み先〉

近畿日本ツーリスト㈱盛岡支店  
「日本分子生物学会 春季シンポジウム」係  
〒020-0021 盛岡市中央通2丁目2-5 (住友生命ビル)  
TEL (019)651-2231 FAX (019)651-2134  
担当 高橋・三玉・鈴木

# 盛岡市内ホテル位置図

- A. ホテルメトロポリタン  
ニューウイング
- B. ホテルメトロポリタン本館
- C. ホテル東日本
- D. ホテルリッチ
- E. グランドホテル・アネックス
- F. ホテルニューカーリーナ
- G. サンルート盛岡



日本分子生物学会 第1回春季シンポジウム〔航空券・JR 団体券・観光・宿泊〕申込書

ご連絡担当者名					所属				
住所 (確認書等の送付先)		〒							
		TEL				FAX			
No.	(フリガナ) 氏名	性別	航空券			エクスカーション	宿泊		同室者氏名
			5/10	5/12	5/13		5/9	5/12	
例	イワテタロウ 岩手太郎	男	ウ	×	サ	B	×	E-1	
1	<input type="text" value="代表者"/>								
2									
3									
4									
5									
6									
—返金口座番号— 銀行名 _____ 銀行 _____ 支店 口座種別 (普通・当座) 口座番号 _____ 口座名義 _____					JR 団体券 (8 名以上) 代表者名 _____ 往路 月 日 乗車区間 → _____ 列車名① _____ 号 大人 名 禁煙：喫煙 _____ 特急区間 → _____ 発着時間 ( : ) → ( : ) _____ 列車名② _____ 号 大人 名 禁煙：喫煙 _____ 特急区間 → _____ 発着時間 ( : ) → ( : ) _____ 自由席○ 普通指定席○ グリーン指定席○				
—チャーターバス利用希望確認— 5月10日 乗車希望番号 ( ) _____ 5月12日 乗車希望番号 ( ) _____					復路 月 日 乗車区間 → _____ 列車名① _____ 号 大人 名 禁煙：喫煙 _____ 特急区間 → _____ 発着時間 ( : ) → ( : ) _____ 列車名② _____ 号 大人 名 禁煙：喫煙 _____ 特急区間 → _____ 発着時間 ( : ) → ( : ) _____				
—備考欄—									
—諸注意— I 太枠の中に必要事項をご記入下さい。II 必ず申込書の控えを残して下さい。III 多人数の場合は、申込書をコピーしてご利用下さい。IV ツインをお申し込みの方は、同室者氏名欄に同室希望者名をご記入下さい。V 変更は FAX にて送付お願い致します。									

〈お申込先〉

近畿日本ツーリスト(株)盛岡支店 「日本分子生物学会 第1回春季シンポジウム」係 担当 高橋 三玉 鈴木  
〒020-0021 盛岡市中央通2-2-5 TEL (019)651-2231 FAX (019)651-2134

## ◆第24回（2001年）日本分子生物学会年会のお知らせ（その1）

第24回日本分子生物学会年会を下記の要領で開催いたします。

1. 会 期：2001年12月9日（日）～12日（水）  
総 会：12月11日（火）
2. 会 場：パシフィコ横浜
3. 内 容：

現在下記の要領での開催を検討しております。詳細は次回会報（No. 69）でお知らせするとともに、日本分子生物学会のホームページ（<http://MBSJ.biol.kobe-u.ac.jp>）にも公開します。

- 1) 年会ではポスターによる一般演題、ワークショップ(約50テーマ)、シンポジウム(約30テーマ)、バイオテクノロジーセミナー等を計画しています。なお本年はワークショップとシンポジウムを時間で区切らず、同一時間帯に両者が並行して進行するようなプログラムにいたします。
- 2) ポスター発表の応募要領は次回会報（No. 69）に掲載します。応募の締切日は8月31日（金）の予定です。一般演題の中から一部を採用しワークショップで発表する方式を検討しています。なお本年は、演題受付等をすべて Web 上で行う計画で準備を進めています。
- 3) ワークショップのテーマを公募します。ワークショップについてのご提案がある会員の方は、「テーマと概要（400字程度）、世話人（2名程度）と数名の演者の氏名と所属、予想される聴衆の数」を、2001年3月末日必着で、郵便か FAX で下記の年会事務局宛に送付して下さい。本年のワークショップについては、サイエンティフィックである限り、インタラクティブなもの、少数の話をじっくり聴くものなど、例年の型にとらわれないユニークなものも歓迎いたします。ただし、シンポジウムとの関連、日程等を検討したのち採否を決めさせていただきますので、採択されない場合もあることを予めご了承ください（学会ホームページ参照）。シンポジウムについては組織委員会を中心に企画を進めており、まだ最終案ではありませんが、現在別表のようなテーマが挙がっています。
- 4) 講演要旨集は印刷物として発行します。Web 上での内容の公開はしませんが、on-line でキーワードによる内容の検索を行い、検索結果に一致した演題番号を知ることができるようにする予定です。
- 5) 懇親会は行わず、代わりにミキサーを企画しています。
- 6) 年会会場に保育室を設置することを検討しています。関心をおもちの方は別掲の囲み記事をご覧ください。

第24回年会事務局 学会センター関西内

〒560-0082 豊中市新千里東町1-4-2

千里ライフサイエンスセンタービル 14階

Tel : (06)6873-2301 Fax : (06)6873-2300

E-mail: [bunshi24@bcasj.or.jp](mailto:bunshi24@bcasj.or.jp)

なお、年会開催についてのご意見、ご希望は、年会長宛に直接ご連絡下さい。

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学大学院理学系研究科

生物化学専攻

山本正幸（第24回年会長）

Tel : (03)5841-4386 Fax : (03)5802-2042

E-mail: [myamamot@ims.u-tokyo.ac.jp](mailto:myamamot@ims.u-tokyo.ac.jp)

〈別表〉 シンポジウムタイトル（案）

この表はワークショップ企画の立案の参考のために掲げるものであり、今後まだ変更、調整、追加などの可能性が残されています。

- 1～7. シリーズシンポジウム：ポストゲノムを支えるモデル生物  
(酵母/線虫/ショウジョウバエ/ゼブラフィッシュ/  
ゼノバス・ホヤなど/マウス/シロイヌナズナ)
8. ポストゲノムとしてのゲノム構造科学
9. システム・バイオロジーと細胞モデリング
10. 生体超分子形態形成の構造生物学
11. RNA のプロセッシング、輸送と情報発現調節
12. RNA からみるポストゲノム
13. 真核生物の染色体分配の制御
14. 細胞極性、接着、骨格制御
15. シグナルクロストーク：細胞応答の複雑性と多様性
16. 細胞内メンブレントラフィック
17. 幹細胞の基礎と応用
18. 減数分裂と配偶子形成
19. ボディープランを支える分子メカニズム
20. 再生工学と細胞核の再プログラム化
21. サーカディアンリズム発現の分子的基礎
22. 神経可塑性の分子的基盤
23. 神経変性疾患と治療戦略
24. Common Disease の原因遺伝子と分子病態
25. 自然免疫系の分子生物学
26. 種形成に至る分子機構

以上の他に、21世紀初回の年會にふさわしい特別シンポジウムをプログラム委員会で企画する予定です。

第24回日本分子生物学会年會（2001年）において、「年會内保育室」の設置を検討しています。詳しくは学会のホームページ（<http://MBSJ.biol.kobe-u.ac.jp>）でご案内しますので、設置された場合にご利用を希望される方は学会ホームページをこまめにご覧下さい。希望者の大枠を把握するため、預けるお子様の年齢、人数、預ける日数（時間）などをアンケート調査しています。

（第24回日本分子生物学会年會・保育室設置検討ワーキンググループ）

## ◆学術賞、研究助成の本学会推薦について

本学会に推薦依頼あるいは案内のある学術賞、研究助成は、本号に一覧として掲載しております。そのうち応募にあたり学会等の推薦が必要なものについての本学会からの推薦は、本学会選考委員会の審査に従って行います。応募希望の方は、直接助成先に問合せ、申請書類を各自お取寄せ下さい。

本学会への推薦依頼の手続きは次の通りです。

### 1. 提出物

- 1) 本申請に必要な書類（オリジナルおよび募集要項に記載されている部数のコピー）
- 2) 本学会の5名の選考委員用および学会控に、上記申請書類のコピー計6部（論文は不要）
- 3) 申込受付確認のための葉書（返信用の宛名を記入しておいて下さい）

### 2. 提出先

4月に役員が替わりますが、3月末日までは下記に提出して下さい。4月以降の送り先については学会事務局（TEL 03-5814-5801）にお問合せ下さい。

日本分子生物学会 選考委員長 花岡文雄  
〒565-0871 吹田市山田丘1-3  
大阪大学細胞生体工学センター  
Fax : (06) 6877-9382

### 3. 提出期限

財団等の締切りの1ヵ月前まで。提出期限後に受取った場合や、提出書類が不備な場合は選考の対象にならないことがあります。

◆研究助成一覧

名 称	連 絡 先	件 数	締 切	助成内容等	概 要
第32回三菱財団 自然科学研究助成	財三菱財団 ☎(03) 3214-5754 〒100-0005 千代田区丸の内2-5-2	総額3億円, 30件程度	2001年 2月22日	1件当り2,000万円 まで	自然科学の基礎となる独 創的,かつ先駆的研究と ともに,国際的發展に先 導的役割を担う萌芽とも なる研究(原則として個 人研究)。
新化学発展協会 2001年度研究奨励 金	財新化学発展協会 ☎(03) 3294-8031 〒101-0062 千代田区神田駿河台1-5	8課題, 各課題1件	2001年 2月1日	1件 100万円	新化学の発展に資する若 手研究者(39歳以下)の 研究に対して,研究奨励 金を交付。 研究課題有り。
山田科学振興財団 2001年度研究援助	財山田科学振興財団 ☎(06) 6757-3311 〒544-8666 大阪市生野区巽西1-8-1	10件程度 (2件)	2001年 3月30日	1件当たり100~ 500万円, 総額4,000万円	自然科学の基礎的研究に 対しての研究費援助。 (推薦書の請求は 事務センター・福田 TEL 03-5814-5801まで)
日本生命財団研究 助成	財日本生命財団 ☎(06) 6204-4012 〒541-0042 大阪市中央区今橋3-1-7 日本生命今橋ビル	総額8,000万円 程度	2001年* 5月8日	申請金額に制限 なし	「人間活動と環境保全と の調和に関する研究—自 然と人間の共生への新し い道を求めて—」の趣旨 に沿った研究のうち,「人 間活動と自然環境との関 係(人間と自然環境の共 存)」関連分野で,かつ現 在および将来の重要課題。
アマジャムファル マシアバイオテク 分子生物学若手研 究者奨学金	アマジャムファルマシア バイオテク財団 バイオダイレクト事業部 ☎(03) 5331-9330 〒141-0021 品川区上大崎4-5-37 本多電機ビル (応募先) Young Scientist Prize Selection Committee, SCIENCE Room 1053, 1200 New York Avenue, NW Washington, DC 20005, USA	若干名	2001年* 6月30日	最優秀賞金 US\$ 25,000 その他の受賞者 US\$ 5,000	1995年より SCIENCE 誌 との協賛で,学位取得直 後の優秀な若手研究者を 支援するために Pharmacia Biotech & SCIENCE Prize for Scientists in Molecular Biology を設 置。
国際生物学賞	国際生物学賞委員会 ☎(03) 3263-1721 〒102-8471 千代田区麹町5-3-1 ヤマトビル 日本学術振興会内	1件 (1件)	2001年* 5月7日	賞状, 賞牌, 1,000万円	生物学の研究において 世界的に優れた業績を挙 げ,世界の学術進歩に大 きな貢献をした研究者。
第19回研究助成 第18回国内および 海外留学補助金 第18回持田記念学 術賞	財持田記念医学薬学振興 財団 ☎(03) 3358-7211 〒160-8515 新宿区四谷1-7	総額 4,200万円 総額 500万円 2件以内 (1件)	2001年* 6月30日 2001年* 6月30日 2001年* 7月31日	1件 100万円 1件 50万円 1件 300万円	生命科学・薬物科学・情 報科学と医療応用の研究 の分野における研究で, 顕著な功績があり,かつ 新進気鋭の研究者。
第28回日産学術研 究助成 第9回日産科学賞	財日産科学振興財団 ☎(03) 3543-5597 〒104-0061 中央区銀座6-16-9 日産ビルネット館-1	㊶総合研究 8件程度 (枠なし) ㊷奨励研究 30件程度 (枠なし)	2001年* 8月20日	㊶1,000万円まで ㊷200万円まで  賞状, メダル, 500万円	自然科学分野で,それぞ れの研究の成果が学術の 進歩・発展に貢献するこ ろが大きいと思われるも の,新しい研究分野の 開拓に貢献する研究者お よび研究グループ(奨励 研究は40歳以下)。 自然科学分野で,学術文 化の向上・発展に大きな 貢献をした満50歳未満の 研究者。
笹川科学研究助成	財日本科学協会 ☎(03) 3502-1931 〒105-0001 港区虎ノ門1-11-2 日本財団第2ビル	約390件	募集期間 2001年* 9月1日 10月31日	1件当り100万円ま で	人文科学,社会科学およ び自然科学(医学を除 く),または境界領域の 研究計画に関するもの。 4月1日現在,35歳以下 の若手研究者へ助成。
上 原 賞	財上原記念生命科学財団 ☎(03) 3985-3500 〒171-0033 豊島区高田3-26-3	2件以内 (1件)	2001年* 9月10日	金牌, 1,000万円	生命科学の栄養学,薬 学,基礎および臨床医 学,社会医学で顕著な業 績を挙げ,引き続き活躍 中の研究者。

名 称	連 絡 先	件 数	締 切	助成内容等	概 要
井上 学 術 賞	財井上科学振興財団 ☎(03) 3477-2738 〒150-0033 渋谷区猿楽町11-20	5件以内 (1件)	2001年* 9月20日	1件賞状、メダル、 200万円	自然科学の基礎的研究で特に顕著な業績を挙げた者(ただし締切日現在満50歳未満)。
木原記念財団学術賞	財木原記念横浜生命科学振興財団 ☎(045) 825-3487 〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町641-12	1件 (1件)	2001年* 9月30日	賞状、記念牌、 200万円	最近において生命科学の分野で優れた独創的研究を行っている国内の研究者で、原則として締切日現在50歳以下の者。
東レ科学技術賞	財東レ科学振興会 ☎(047) 350-6103 〒279-8555 浦安市美浜1-8-1 東レビル	2件前後 (2件)	2001年* 10月10日	1件 賞状、金メダル 500万円	学術上の業績顕著な者、学術上重要な発見をした者、重要な発明により効果が大い者、技術上の重要問題を解決し貢献が大い者。
東レ科学技術研究助成		総額 1億3,000万円 10件程度 (2件)	2001年* 10月10日	特に定めず最大 3,000万円まで	基礎的な研究に従事し、今後の研究の成果が科学技術の進歩・発展に貢献するところが大きいと考えられる、独創的、萌芽的な研究を活発に行っている若手研究者。
第33回科学振興賞	財内藤記念科学振興財団 ☎(03) 3813-3005 〒113-0033 文京区本郷3-42-6 NKDビル8階	1件 (1件)	2001年* 10月10日	正賞、金メダル 300万円	人類の健康の増進に寄与し得る自然科学の基礎的研究、なにかんずく疾病の予防と治療に関する独創的テーマに取り組み、自然科学の進歩発展に顕著な功績を挙げた研究者。
第33回海外学者招聘助成金		前後期各総額 500万円 (1件)	2001年* 7月10日 10月10日	1件 50万円まで	同上のテーマに取り組み、国際的に高い評価を得ている外国の研究者を招聘する受入れ責任者に贈呈。
ブレインサイエンス財団研究助成		8件 (1件)	2001年* 11月27日	1件 80万円	ブレインサイエンス研究分野(脳神経に関する自然科学的研究をすべて含む研究領域)において独創的で国際的評価に値する研究者。なるべく若い者、単独または共同研究も可。
塚原仲晃記念賞	財ブレインサイエンス振興財団 ☎(03) 3273-2565 〒104-0028 中央区八重洲2-6-20	1件 (1件)		1件 100万円	ブレインサイエンスの研究の促進を図るため、国際学会、シンポジウム等への参加、あるいは研究者の派遣を助成。
海外派遣研究助成		若干件 (1件)	2002年* 1月17日	1件 30万円まで	同分野において独創的テーマに意欲的に取り組んでいる外国人研究者の招聘を助成。
海外研究者招聘助成		若干件 (1件)		1件 30万円まで	
研 究 助 成	財長瀬科学技術振興財団 ☎(06) 6535-2117 〒550-8668 大阪市西区新町1-1-17	10数件	2001年* 11月30日	1件 250万円程度	生化学および有機化学等の分野において研究活動を行う研究者または研究機関。
国 際 交 流 助 成		10件程度	2001年* 11月30日	1件 30万円程度	生化学および有機化学等の分野において研究調査を行う研究者の海外派遣または招聘(除く留学)。
第15回研究会助成	財バルティス科学振興財団 ☎(0797) 74-2460 〒665-8666 宝塚市美幸町10-66	約10件 (1件)	2001年* 6月29日	1件 50万円	わが国で開催される生物・生命科学およびそれに関連する化学の領域における研究会に対し、運営経費の一部を助成する。研究会はかなりの数の国外からの参加者を含む国際性豊かな集会でなければならぬ。ただし、参加者が1,000名を越すような大規模な研究会および2国間の研究会は原則として助成の対象としない。

## ◆各種学術集会、シンポジウム、講習会等のお知らせ

### ○千里ライフサイエンスセミナー 「ヒト遺伝子多型とファーマコジェノミクス」

日時：2001年3月2日（金）10：00～17：00  
場所：千里ライフサイエンスセンタービル5階ライ  
フホール

主催：財団法人 千里ライフサイエンス振興財団  
協賛：株式会社 千里ライフサイエンスセンター  
コーディネーター：

東京大学医科学研究所 教授 榊 佳之  
国立循環器病センター研究所 部長 森崎隆幸

プログラム：

1. SNPと体系的遺伝子発現プロファイルに基づく  
臨床ゲノム薬理研究  
辻本豪三（国立小児病院小児医療研セ）
2. ゲノム多型を用いる疾患関連遺伝子同定へのアプ  
ローチ  
板倉光夫（徳島大・ゲノム機能研セ）
3. 日本人ゲノム多型（SNP）の収集とその特徴  
森崎隆幸（国立循環器病セ研）
4. 国立がんセンターにおけるミレニアムゲノムプロ  
ジェクト  
大木 操（国立がんセ）
5. 高血圧関連遺伝子と SNP

三木哲郎（愛媛大・医）  
6. トゲノム計画の新しい展開  
榊 佳之（東大医科研）

参加費（講演要旨含まむ）：

6,000円（会員[大学・官公庁職員、財団の賛助会員]）  
8,000円（非会員）  
3,000円（学生）

定員：200名

申込方法：

氏名、〒所在地、勤務先、所属、TELおよびFAX  
を明記の上、郵便、FAXまたは電子メールで下記宛  
にお申込み下さい。受付の通知を返送いたしますの  
で、そこに記載した振込先口座に参加費をお振込み下  
さい。入金を確認後、領収書兼参加証を送付いたしま  
す。

申込先：

財団法人千里ライフサイエンス振興財団セミナー（P3）係  
〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2  
千里ライフサイエンスセンタービル8階  
TEL：(06) 6873-2001 FAX：(06) 6873-2002  
E-mail: info-lsf@senri-ic.co.jp

### ○日本学術振興会 未来開拓「細胞シグナリング」公開国際シンポジウム

主催：日本学術振興会未来開拓学術研究事業「細胞  
シグナリング」研究推進委員会

日時：2001年3月2日（金）10：00～17：00  
場所：神戸国際会議場 3階国際会議室（神戸市中  
央区港島中町：ポートアイランド）

シンポジスト：

宇井理生（都臨床研）、西塚泰美（神戸大）、倉智嘉久  
（阪大・院医）、竹縄忠臣（東大・医科研）、谷口維紹  
（東大・院医）、成宮 周（京大・院医）、宮園浩平  
（東大・院医）、Cantley, L.（ハーバード大・医）、  
White, M. F.（ハーバード大・医）

参加費：無料

参加人数：300名

参加申込方法：

住所・氏名（和文と英文）・所属（和文と英文）・Tel,  
Fax, E-mailを明記し、下記宛お申込み下さい。（当  
日参加も可）

参加申込締切：定員になり次第

参加申込先：

未来開拓「細胞シグナリング」事務局 担当：丸尾  
〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-1 神戸大学医学部  
第二内科  
TEL：(078) 382-5861 FAX：(078) 382-2080  
E-mail：signal@med.kobe-u.ac.jp

### ○文部科学省科学研究費 創成的基礎研究「細胞内情報伝達機構網の研究」2001国際シンポ ジウム

日時：2001年3月3日（土）10：00～18：00  
場所：神戸国際会議場（神戸市中央区港島中町：  
ポートアイランド）

シンポジスト：

西塚泰美（プロジェクトリーダー、神戸大）、大野茂  
男（横浜市大・医）、吉川 潮（神戸大・バイオシグ  
ナル研）、黒木登志夫（昭和大・腫瘍分子生物学研）、  
斎藤尚亮（神戸大・バイオシグナル研）、Blumberg,  
P. M.（米国・国立衛生研）、Fields, A. P.（テキサス  
大・メディカルセ）、Hunter, T.（米国・ソーク研）、  
Newton, A. C.（カリフォルニア大・サンディエゴ校）

参加費：無料

参加人数：300名

参加申込方法：

住所・氏名（和文と英文）・所属（和文と英文）・Tel,  
Fax, E-mailを明記し、下記宛お申込み下さい。（当  
日参加も可）

参加申込締切：定員になり次第

参加申込先：

学会センター関西内「細胞内情報伝達機構網の研究  
2001」事務局  
〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2  
千里ライフサイエンスセンタービル14階  
TEL：(06) 6873-2301 FAX：(06) 6873-2300  
E-mail：o-conf@bcasj.or.jp

## ○シンポジウム「21世紀における再生医学への展望」

日 時：2001年3月21日（水）、3月22日（木）  
会 場：キャンパスプラザ京都（JR 京都駅隣、京都中央郵便局西側）

問合せおよび懇親会・Party 申込先：

シンポジウム事務局 久世（中辻研）

FAX：075-751-3890, E-mail：saisei21@frontier.kyoto-u.ac.jp または瀬原 FAX：03-5685-2932

プログラム詳細は <http://www.frontier.kyoto-u.ac.jp>

第1日目：2001年3月21日（水）10：00～17：40

京都大学再生医学科学研究所学術講演会（日本語）

講演予定者：脾β細胞の新生と再生医学への応用/小島至（群馬大）、組織再生とHGFシグナリング/喜多村直実（東工大）、組織構築におけるECMリモデリング/伊藤義文（東大）、カプセル化細胞脳内移植による神経疾患の治療/伊達勲（岡山大）、小型肝細胞を用いた肝組織形成/三高俊広（札幌医科大学）、霊長類ES細胞株の樹立と再生医学/中辻憲夫、ES細胞からの神経細胞への分化と再生医学への応用/河崎洋志、造血幹細胞からリンパ球系列への分化のプロセス/桂義元、軟骨分化を制御する細胞増殖因子/開祐司、分子シャペロンによるコラーゲンの分子構築制御/永田和宏、糖尿病に対する脾島再生医療/井上一知、生体材料とDDS技術とを用いた生体内での組織臓器の構築

/田畑泰彦（以上京大）

18：00～20：00 懇親会

第2日目：2001年3月22日（木）10：00～17：30

A Workshop on Muscular Dystrophy: Perspectives to Studies on Myogenesis and Therapeutics of Muscular Diseases in 21<sup>st</sup> Century (English) (supported by the Research Grant for Nervous and Mental Disorders from the Ministry of Health and Welfare, Japan)

**Invited Speakers from Abroad:** Michael Rudnicki (McMaster Univ., Ontario, Transcription Factors and Cell Fate Determination), Margaret A. Goodell (Baylor College of Med., Houston, Stem Cells and Regeneration), Terry Partridge (MRC Clinical Sciences Centre, Stem Cells and Transplantation).

**Japanese Speakers:** Keiichi Fukuda (Keio Univ.), Jun Yamashita (Kyoto Univ.), Kazuki Kuroda (Kyoto Univ.), Shosei Yoshida (Kyoto Univ.), Sumiharu Noji (Tokushima Univ.), Yukiko Hayashi (NCNP), Ryoichi Matsuda (Univ. Tokyo), Masafumi Matsuo (Kobe Univ.), Shin'ichi Takeda (NCNP), Toshifumi Tsukahara (NCNP), Atsuko Sebara (Kyoto Univ.)

18：00～20：00 Party

## ○特定領域研究国際シンポジウム「NEW HORIZONS OF DEVELOPMENTAL BIOLOGY」のお知らせ

文部省科学研究費補助金特定領域研究（A）「脊椎動物のボディプラン」、「発生システムのダイナミクス」主催の合同国際シンポジウムを以下の日程で行います。「初期発生メカニズム」「器官形成・再生」「進化による多様性の獲得」をキーワードに国内外から20数名の第一線で活躍する研究者を招き講演していただきます。一般研究者だけではなく、学生の積極的な参加もお待ちいたします。

日 時：2001年3月23日（金）午後1時より

3月24日（土）午後6時まで

場 所：岡崎コンファレンスセンター（愛知県岡崎市）

参加費：無料（昼食代、懇親会費は別）

シンポジウム日程の詳細、会場案内、講演者リスト、参加申し込み方法等はシンポジウムホームページをご覧ください。<http://www.nibb.ac.jp/~horizon/>

問合せ先：

岡崎国立共同研究機構基礎生物学研究所

発生生物学研究系 上野直人

TEL：(0564) 55-7570 FAX：(0564) 55-7571

E-mail：horizon@nibb.ac.jp

## ○科学技術振興事業団（JST）戦略的基礎研究推進事業（CREST）「ゲノムの構造と機能」公開シンポジウム

会 期：2001年4月20日（金）

会 場：東京ガーデンパレス（東京都文京区）

プログラム：

10：10～10：50 馬場嘉信（徳島大・薬・製薬化学科）  
—ナノチップテクノロジーの創製とゲノム解析への応用—

10：50～11：30 柴田武彦（理研・遺伝生化学）

—組換えを介したゲノム動態制御—

11：30～12：10 森 浩禎（奈良先端大・遺伝子教育研セ）

—大腸菌におけるゲノム機能の体系的解析—

13：20～14：00 吉田 稔（東大・院農学生命科学）

—ゲノムの機能を制御する核内因子の局在と修飾に関する化学遺伝学的研究—

14：00～14：40 平岡 泰（郵政省通信総研・関西先端研セ）

—ゲノムの安定保持を保障する細胞核構造の解明—

14：40～15：20 石野史敏（東京工大・遺伝子実験）

—哺乳類特異的ゲノム機能—

15：40～16：20 田矢洋一（国立がん七研・放射線）

—p53によるゲノムの防御機構（p53によるアポトーシスとG1停止の選択機構）—

16：20～17：00 長田重一（阪大・院医・生体制御医学遺伝学）

—アポトーシスにおけるゲノム構造変化の分子機構と生理作用—

参 加 費：無料

申込方法：

氏名・所属・連絡先住所・電話番号を記入して、葉書・FAXまたはE-mailで下記宛にお申込み下さい。

申込み・問合せ先：

〒292-0812 千葉県木更津市矢那1637

かずさアカデミアパーク内

科学技術振興事業団「ゲノムの構造と機能」研究事務所

## ○ マリンバイオ静岡2001のご案内

21世紀の初頭を飾る第5回マリンバイオテクノロジー学会大会(マリンバイオ静岡2001)を下記の要領で開催いたしますので、皆様ふるってご参加下さいませようご案内申し上げます。

主催：マリンバイオテクノロジー学会  
大会会長 嵯峨直恆(東海大・海洋研)  
実行委員長 志津里芳一(海洋バイオ・清水研究所長)

日時：2001年5月25日(金)～26日(土)  
会場：グランシップ(静岡県コンベンションアーツセンター)

〒422-8005 静岡市池田79-4

TEL : 054-203-5710

新幹線「静岡」乗換え、東海道本線「東静岡」下車1分

発表申込締切：2001年3月16日(金) 必着

発表要旨締切：2001年4月13日(金) 必着

発表・参加申込要領の請求方法：

住所(郵便番号)、氏名、所属、TEL、FAX、E-mailを明記の上、下記の連絡先までお申込み下さい(E-mailをご利用下さい)。

参加費：講演要旨集代を含む  
(3月16日まで) (3月17日以降)

会員 一般 5,000円 7,000円

学生 3,000円 4,000円

非会員 一般 9,000円 10,000円

学生 4,000円 5,000円

懇親会：一般 5,000円 学生 3,000円

日時：5月25日(金) 18:15-20:15

会場：グランシップ 6階 交流ホール

大会内容：1. 特別講演

2. セッション(リーダー講演および一般講演)

演)

3. ポスター発表

4. 公開シンポジウム

5. 懇親会

セッション：セッションリーダーの講演と一般講演で構成される各セッションは次の7件を予定しております。

(1) 遺伝子と機能

(2) 天然物化学

(3) 環境・応答

(4) 増養殖

(5) 生物資源の多様性および解析

(6) 細胞・形態・発生

(7) その他

発表：

一般講演とポスター発表で行います。

一般講演はOHP使用で質疑を含めて1件15分の予定です。

また、今回も優秀ポスターの表彰を予定しております。申込多数の場合、一般講演の各セッションへの割振りならびにポスターへの振替えなどは事務局にご一任願います。

大会事務局・連絡先：

〒424-0037 静岡県清水市袖師町1900番

㈱海洋バイオテクノロジー研究所

「マリンバイオ静岡2001」事務局長 新原 英雄

TEL : (0543) 66-9211 FAX : (0543) 66-9255

E-mail : hideo.sinbara@shimizu.mbio.co.jp

大会ホームページ：

学会ホームページ : <http://www.soc.nacsis.ac.jp/jsmb/index.html>

大会ホームページ : <http://www.soc.nacsis.ac.jp/jsmb/shizuoka.html>

## ○ 日本細胞生物学会第54回大会の開催案内

日時：2001年5月30日(水)～6月1日(金)  
(今年から開催時期が秋から春に変更になりました)

場所：長良川国際会議場(岐阜県岐阜市)

応募方法：インターネット(郵送も可)

応募期間：2001年3月1日(木)～3月30日(金)

(郵送の場合は15日(木)必着)

連絡先：

第54回日本細胞生物学会大会事務局

岡崎国立共同研究機構 基礎生物学研究所

細胞内エネルギー変換機構研究部門内 吉森 保

〒444-8585 岡崎市明大寺町字西郷中38

TEL : (0564) 55-7519 or 7517 FAX : (0564) 55-7516

E-mail yosimori@nibb.ac.jp

なお、詳細は次のホームページをご覧ください。

URL : <http://www.nacos.com/jsch/>

## ○ 日本蛋白質科学会の発足と第1回年会開催について

来る2001年4月1日に、新たに日本蛋白質科学会が発足する予定です。この日本蛋白質科学会第1回年会を以下の要領で開催します。

会期：2001年6月1日(金)～6月3日(日)

会場：大阪大学コンベンションセンター(〒565-0871 吹田市山田丘1-1)。千里中央発「阪大本部前行」阪急バスにて、阪大医学部前または阪大本部前下車、徒歩約5～10分。<http://www.osaka-u.ac.jp/annai/campus/access2.html>を参照。

htmlを参照。

設立祝賀会：6月1日(金) 夕刻より千里阪急ホテル(千里中央)にて開催。

主催者：月原 富武(阪大・蛋白研・蛋白質物理構造)

発表申込締切：4月6日(金)

予稿原稿締切：4月27日(金)

参加登録予約申込締切：4月27日(金)

予約参加費(予稿集代金を含む)：

一般 6,000円(当日 7,000円)

学生 4,500円(当日 5,000円)  
祝賀会参加費:一般 8,000円(当日 9,000円)  
学生 3,000円(当日 4,000円)  
討論主題:新世紀における蛋白質科学  
プログラム:

6月1日(金)には、新学会発開式と、Protein Society 会長 Prof. Chris Dobson らによる記念講演会を行います。6月2日(土)には、企画型シンポジウム「分子細胞生物学と構造生物学の融合」、ポスター発表、ワークショップを行います。6月3日(日)には、公募型シンポジウム「新世紀の蛋白質科学」と、企画型シンポジウム「ゲノミクスとプロテオミクス」、およびポスター発表を行います。ポスターは2日間継続して展示する予定です。シンポジウム、ワークショップの詳細は、決定したい、ホームページ (<http://www.casjo.org/protein2001/>) に掲載いたします。学会入会申込、参加登録予約申込、および口頭発表とポスター発表の申込:

学会入会、参加登録予約、および発表の申込みは、

インターネットのホームページ (<http://www.casjo.org/protein2001/>) で受け付けます。企画型シンポジウム「ゲノミクスとプロテオミクス」の一部と公募型シンポジウム「新世紀の蛋白質科学」では、口頭発表の一般公募を行いますので、これらの口頭発表を申込みされる方は、1200字程度で、シンポジウムのテーマと合致する内容の斬新さ・論点を記述して下さい。また、ポスター発表の一般公募を広く行います。ポスター発表として申込みされた演題の中からワークショップにおける口頭発表とすることもあります。発表者は原則として新学会の学会員であることとします。インターネットを利用されない場合は、詳細を送付いたしますので、下記にご請求下さい。

申込先:第1回日本蛋白質科学会年会事務局  
〒560-0082 豊中市新千里東町1-4-2  
千里 LC ビル14階 学会センター関西内  
TEL:(06) 6873-2301 FAX:(06) 6873-2300  
E-mail:tanpaku1@bcasj.or.jp  
URL:<http://www.casjo.org/protein2001/>

## ○第16回日本生体磁気学会大会のご案内

開催日:2001年6月1日(金)~2日(土)  
場所:東京農工大学工学部  
テーマ:生体磁気観測、磁気生体作用、磁気共鳴イメージングなど  
演題締切:3月10日(数行の概要添付)  
原稿締切:4月10日(刷り上がり2ないし4頁)  
事務局では一般演題を募集します。会員以外で演題募集要項(1~2月頃発送)が必要な方は、下記までお問い合わせ下さい。

合わせないしご参照下さい。

問合せ先:  
〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16  
東京農工大学工学部生命工学科  
第16回日本生体磁気学会大会 事務局 竹山春子  
TEL:(042) 388-7021 FAX:(042) 385-7713  
e-mail:biomag@cc.tuat.ac.jp  
URL:<http://www.tuat.ac.jp/~biomag/>

## ○第28回生体分子科学討論会の概要

共催:日本化学会、日本生化学会、日本生物物理学会、日本薬学会(依頼中)  
協賛:日本結晶学会、日本蛋白質工学会、日本分子生物学会、日本分光学会、日本農芸化学会(依頼中)  
討論主題:生体分子の構造と相互作用・認識・調節・応答・情報伝達・電子伝達  
開催日:2001年7月5日(木)~6日(金)  
会場:金沢大学医学部 記念館(金沢市宝町13-1)  
講演申込:

発表形式:口頭発表(一般講演は発表15分、討論5分の予定)

参加登録費:1,500円(当日2,000円)

講演要旨集:2,000円(当日3,000円)

懇親会:7月5日(木)18:00(予定)

会費 一般 5,000円(当日6,000円)

学生 2,500円(当日5,000円)

参加登録および要旨集の予約:

5月25日(金)までに参加登録費、講演要旨集代金、懇親会費の合計を銀行に振り込み、以下の項目を記入した電子メール(件名は「参加登録」、宛先 bio2001@mhs.mp.kanazawa-u.ac.jp)またはFAX(宛先(076)234-4360)をお送り下さい。整理の都合上、予約申込は参加者ごとに行って下さい。

1. 参加者氏名、2. 氏名のふりがな、3. 所属(学部、研究所名等も含む)、4. 連絡先(郵送宛先、E-mail、TEL・FAX等)、6. 一般・学生の区別、7. 要旨集必要部数、8. 懇親会参加・不参加、9. 振込金額(総額と内訳)、10. 振込日

振込先:北陸銀行 小立野支店 普通預金口座 4342860  
第28回生体分子科学討論会 世話人 長井雅子

問合せ先:

〒920-0942 金沢市小立野5-11-80

金沢大学医学部保健学科医療基礎学講座 長井雅子

E-mail:nagai@kenroku.kanazawa-u.ac.jp

TEL:(076) 265-2581 FAX:(076) 234-4360

以下の項目を記入し、2001年4月27日(金)までに電子メール(件名欄に「講演申込」と記入)で bio2001@mhs.mp.kanazawa-u.ac.jp 宛に、または、FAXで(076)234-4360へお送り下さい。

1. 講演題目(電子メールの場合、上付文字は!で、下付文字は\$で、イタリック体は#で挟み、ギリシヤ文字はJIS漢字を使用して下さい)

2. 発表者氏名(連名の場合は講演者に○印)

3. 発表者所属(複数の場合は、発表者氏名のあとに数字を付して区別)

4. 講演者の氏名と連絡先(郵便番号、Tel, FAX, E-mail等を含む)

5. 講演概要(150字程度)

講演要旨原稿:

申込受付後ご連絡致します書式(A4版2頁の予定)に従って作成していただき、5月25日(金)までにお送り下さい。

## ○日本研究皮膚科学会第26回年次学術大会・総会 演題募集と参加のご案内

学術集会名称：日本研究皮膚科学会第26回年次学術大会・総会  
第4回 JSID フォーラム

会 期：2001年9月7日（金）～8日（土）  
（2001年9月8日（土）～9日（日））

第4回 JSID フォーラム

会 場：愛媛県民文化会館  
メインホール・サブホール、真珠の間、第6会議室

学術プログラム：

TANIOKU MEMORIAL LECTURE

日本研究皮膚科学会賞（JSID Award）

Oral Presentation

Poster Presentation

※講演発表に応募された演題は、日本研究皮膚科学会学術委員会の選出した選考委員会（約20名）によって、プレナリー14題、口頭発表 25-30%、ポスター 70-75%に決定されます。

演題応募締切：

2001年4月23日（月）

希望者は、演題募集要項を下記事務局まで、FAXにてお申込み下さい。

※9/8-9のJSIDフォーラムについては、事前登録制で8/20締切です。

参加費：

一般 12,000円 学生 6,000円 留学生 3,000円

（懇親会費を含む）

総責任者：

橋本公二（日本研究皮膚科学会第26回年次学術大会・総会会頭）

事務責任者：

佐山浩二（日本研究皮膚科学会第26回年次学術大会・総会事務局長）

愛媛大学医学部皮膚科学教室

〒790-0295 愛媛県温泉郡重信町志津川

TEL：(089) 960-5350 FAX：(089) 960-5352

## ○日本遺伝学会第73回大会

会 期：2001年9月22日（土）～24日（月）

会 場：お茶の水女子大学 講堂・共通講義棟  
（〒112-8610 文京区大塚2-1-1）

企 画：

1) 一般講演（9月22日、24日）

オーバーヘッドプロジェクターによる口頭発表といたします。1題について、発表、質疑応答をあわせて15分を予定しています。

2) シンポジウム（9月23日）

大会のテーマ「21世紀の遺伝学」にそった内容で、6人程度のシンポジストを予定しています。

3) ワークショップ（9月22日夜、24日午後）

10件以内を予定しています。

4) 総会、懇親会（9月23日午後）

5) 公開市民講演会（9月24日午後）

堀田凱樹（国立遺伝研）、榊 佳之（東大・医科研）、米本昌平（三菱化学生命研）の各氏による講演を予定しています。

参加・講演申込：

詳細は、大会ホームページ（<http://evolgen.biol>）

[metro-u.ac.jp/iden2001/](http://metro-u.ac.jp/iden2001/)）をご参照下さい。ホームページをご覧になれない場合には、下記にお問合せ下さい。

講演の申込締切は、2001年6月15日（金）（必着）です。

費 用：

大会参加費：一般 6,000円 学生 4,000円

（6月16日以降の申込 一般 7,000円 学生 5,000円）

懇親会費：一般 5,000円 学生 3,000円

（6月16日以降の申込 一般 6,000円 学生 4,000円）

なお、公開市民講演会のみ参加は、無料です。

問合せ先：

日本遺伝学会第73回大会準備委員会 事務局

松浦悦子

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1

お茶の水女子大学理学部生物学教室内

TEL：(03) 5978-5377 FAX：(03) 5978-5898

E-mail：etmatsu@cc.ocha.ac.jp

## ○第28回核酸化学シンポジウムのご案内

共 催：日本分子生物学会他

日 時：2001年11月7日（水）～11月9日（金）

会 場：横浜市開港記念会館（横浜市中区本町1-6）

講演申込締切：5月25日（金）

講演要旨（英文）締切：7月6日（金）

参加登録予約申込締切：9月14日（金）

討論主題：

核酸および関連化合物のA)有機化学（モノマー）、B)有機化学（オリゴマー）、C)物理化学および分析化学、D)生化学および分子生物学、E)リボザイム・アンチセンス、F)その他

発表形式：

口頭発表は1演題あたり発表15分質疑応答5分、この他にポスターセッション（全発表の1/2程度）を設け

ます。

発表申込方法：

申込はE-mailでお願いします。なお原則として、一研究室あたり口頭およびポスターを含め2件以内に限定させていただきます。1)希望主題、2)発表形式（口頭またはポスター）、3)演題（英語および日本語）、4)発表者の所属・氏名（講演者に○、英語および日本語）、5)連絡先（住所、Tel, Fax, E-mail）、6)和文要旨（約200字）の順に記入し、nacs@bio.titech.ac.jpまで送付下さい。E-mailがご使用になれない場合、A4版の用紙に上記の事項を記入の上、原稿をテキスト形式で保存したフロッピーディスクと、返信宛先および演題名を記入した返信用葉書を添えて、下記宛お申込み下さっても結構です。発表希望の分野その他の詳細は、

ホームページをご覧ください。  
参加登録費：予約一般 8,000円、予約学生 5,000円  
(当日各2,000円増し)  
懇親会：  
11月8日(木)夕方開催予定。会費 8,000円  
申込・連絡先：〒226-8501 横浜市緑区長津田町4259  
東京工業大学生命理工学研究科分子生命科学専攻

関根光雄、または清尾康志(せいおこうじ)  
TEL：(045) 924-5706, FAX：(045) 924-5772  
E-mail：nacs@bio.titech.ac.jp  
URL：http://xtal.bio.titech.ac.jp/NACS28/  
オーガナイザー：関根光雄(東京工大・生命理工)  
コオーガナイザー：西村善文(横浜市大・院総合理)

## ◆人事公募

### ○群馬大学工学部生物化学工学科・教官公募

公 募：文部教官助教授1名  
所 属：生物機能工学講座  
分 野：生物科学・生物物理化学  
着 任：できるだけ早い時期  
任 期：特になし  
資 格：45歳位まで、博士号取得者  
アクティブな研究活動と教育を含め協調性のある方。  
提 出：履歴書(写真貼付・性別を明記)、発表論文  
リスト、主要論文別刷5編、推薦書、照会可能者2  
名、今までの研究概要(2000字以内)、着任後の研究  
計画と大学・大学院(修士、博士)教育に関する抱負

(2000字以内)  
いずれも、専門分野以外の人にも理解できるように平  
易に記述のこと  
締 切：2001年3月1日  
送 付 先：〒376-8515 桐生市天神町1-5-1  
群馬大学工学部生物化学工学科事務 神山和美  
問合せ先：同学科 坂西明郎 TEL：(0277) 30-1425  
そ の 他：封筒に朱書きで「生物機能工学講座助教授応  
募書類」と記し、書留で送付のこと。なお、応募書類  
は返還いたしません。

新入会用 Web site URL : <http://bunshi.bcasj.or.jp/>

日本分子生物学会 会報

年 3 回刊行

第68号 (2001年 2 月)

発 行 : 日本分子生物学会 庶務幹事

製 作 : 学会センター関西

(財)日本学会事務センター 大阪事務所